

## 新型コロナウイルス感染症への対応についての意識調査（第4回）

（2021年12月実施）

（一社）経済社会システム総合研究所（IESS）

経済社会システム総合研究所では、新型コロナウイルス感染症への対応に関して、第4回目となる意識調査を2021年11月29日～12月11日にかけて実施した。

今回の調査は、9月末の緊急事態宣言の全面解除で経済活動の制限は緩和され、さらに、新規感染者数は減少し、ワクチン接種率も進展して、7割を超えた時期に行われた（前回調査は2021年5月30日～6月11日に実施）。なお、この時期、欧州など世界的には変異株（オミクロン株）が急速な拡大を見せていた。

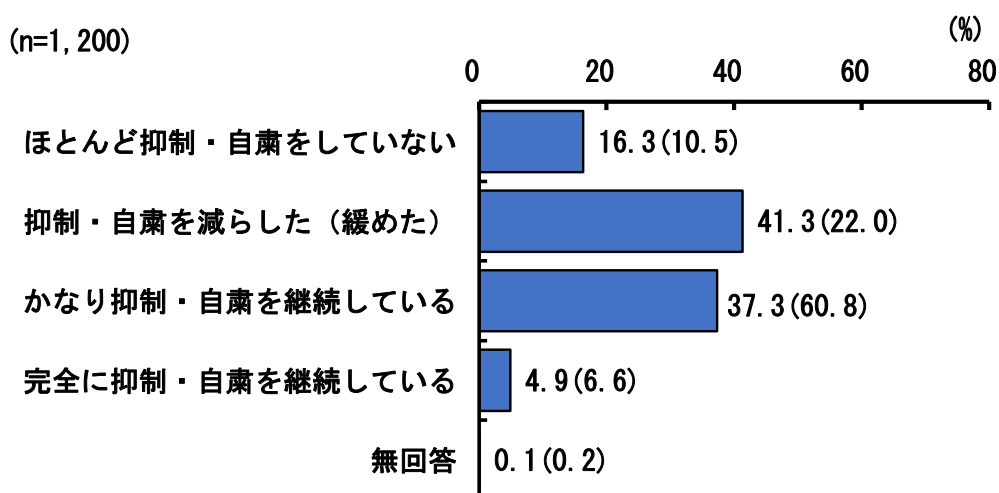
## &lt;調査結果&gt;

## 1. 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況

・・・抑制・自粛を減らした（緩めた）人が前回調査に比べ増加。抑制・自粛している人の割合は減少。

外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況については、ほとんど抑制・自粛していないは16.3%、抑制・自粛を減らした（緩めた）は41.3%となり、前回調査を上回った。これに対して、完全に抑制・自粛を継続しているは4.9%、かなり抑制・自粛を継続しているは37.3%と前回調査から減少した。

図表1 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（回答割合）  
（1つだけ回答）



（注1）カッコ内は前回調査の結果（n=1,200）

（注2）前回調査では、「ほとんど抑制・自粛をしていない」、「抑制・自粛を減らした（緩めた）」、「かなり抑制・自粛をしている」、「完全に抑制・自粛をしている」の4つの選択肢から回答を求めた。

地域別にみると、北海道・東北でかなり抑制・自粛を継続しているが 5 割と高かった。

図表 2 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（地域別回答割合）  
（1つだけ回答）

(%)

	ほとんど抑制・自粛していない	抑制・自粛を減らした（緩めた）	かなり抑制・自粛を継続している	完全に抑制・自粛を継続している	無回答
全体	16.3	41.3	37.3	4.9	0.1
北海道・東北	12.9	35.6	50.8	0.8	—
関東	15.8	43.5	33.8	7.0	—
中部・北陸	20.3	39.1	35.4	4.7	0.5
近畿	15.6	42.7	38.5	3.1	—
中国・四国・九州	16.7	41.3	37.1	5.0	—

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

**男女別**にみると、女性は抑制・自粛を減らした（緩めた）が5割近くと男性に比べて高かった。

**年齢別**にみると、40歳代までは、抑制・自粛を減らした（緩めた）が5割前後と高かった。60歳以上の高齢層では、完全に抑制・自粛を継続している、または、かなり抑制・自粛を継続している人の割合が高かった。

**図表3 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（性別・年齢別回答割合）**  
（1つだけ回答）

（%）

	ほとんど抑制・自粛していない	抑制・自粛を減らした（緩めた）	かなり抑制・自粛を継続している	完全に抑制・自粛を継続している	無回答
全体	16.3	41.3	37.3	4.9	0.1
男性	19.6	33.4	41.9	5.1	-
女性	13.2	49.0	32.9	4.8	0.2
15～19歳	24.3	47.3	25.7	2.7	-
20～29歳	14.9	52.0	27.0	6.1	-
30～39歳	18.2	50.3	29.4	2.1	-
40～49歳	21.7	48.4	28.5	1.4	-
50～59歳	17.7	39.2	39.2	3.8	-
60～69歳	11.4	32.9	48.4	6.8	0.5
70～79歳	9.7	23.0	55.8	11.5	-

（注）全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

職業別では、現場での仕事が多いとみられる自営・商工業や労務・技能職、対面授業が再開された学生は、ほとんど抑制・自粛していないが2割台と高かった。事務・技術職やパート・アルバイトでも、抑制・自粛を減らした（緩めた）が5割近くとなった。

図表4 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（職業別回答割合）  
（1つだけ回答）

(%)

	ほとんど抑制・自粛していない	抑制・自粛を減らした（緩めた）	かなり抑制・自粛を継続している	完全に抑制・自粛を継続している	無回答
全体	16.3	41.3	37.3	4.9	0.1
農林漁業	18.8	31.3	37.5	12.5	—
自営・商工業	21.8	42.0	30.3	5.9	—
自由業	16.3	40.8	36.7	6.1	—
管理職	17.1	29.3	43.9	9.8	—
事務・技術職	13.3	48.3	35.5	2.8	—
労務・技能職	27.6	39.6	31.3	1.5	—
パート・アルバイト	15.2	49.5	32.8	2.5	—
主婦・主夫 専業	9.1	43.0	42.4	4.8	0.6
学 生	22.9	49.5	23.9	3.7	—
無 職	10.1	18.2	59.5	12.2	—

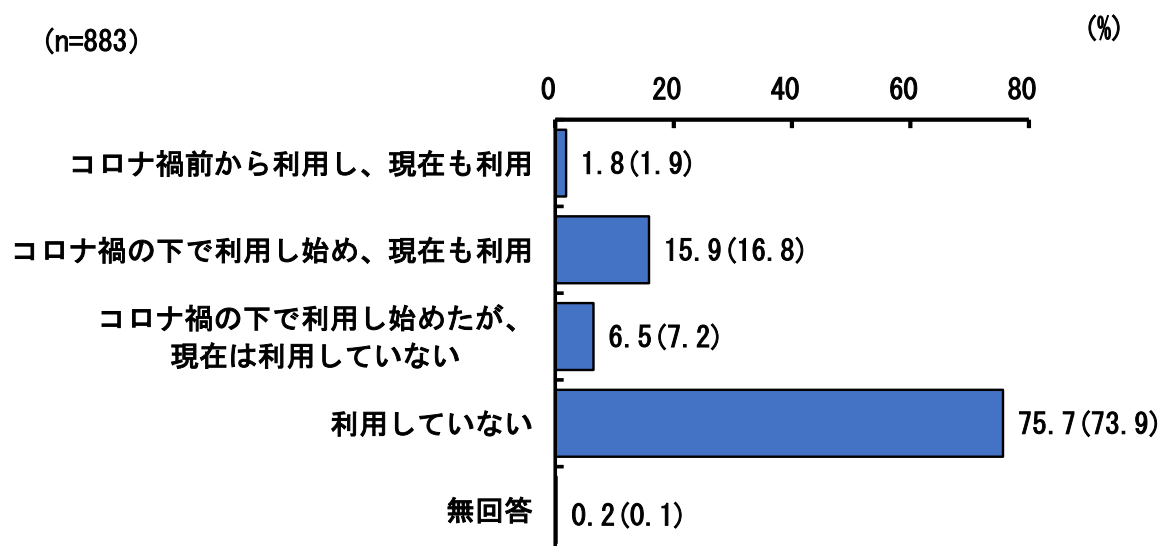
(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

## 2. テレワーク、オンライン授業の利用(実施)状況(主婦、無職、職業無回答を除く)

・・・テレワーク、オンライン授業の利用を現在も継続している人は2割弱

テレワークやオンライン授業の利用(主婦、無職を除く)は、コロナ禍前から、もしくはコロナ禍の下で利用し始め現在も利用が合わせて17.7%であった。一方で、コロナ禍の下で利用し始めたが、現在は利用していないは6.5%を占めた。

図表5 テレワーク、オンライン授業等の利用(実施)状況(回答割合)  
(それぞれ1つだけ回答)



(注)回答者は主婦、無職、職業無回答を除いている。

年齢別にテレワーク、オンライン授業の利用状況をみると、10歳代では、学校で対面授業が再開されたこともあり、コロナ禍の下で利用し始めたが現在は利用していないとの回答が2割台と他の世代に比べて高かった。20歳代では、コロナ禍の下で利用し始め、現在も利用しているが約3割となった。60歳代以上では、利用していないが9割前後と高かった。

図表6 テレワーク、オンライン授業の利用状況（年齢別回答割合）  
（1つだけ回答）

(%)

	回答者数 (人)	コロナ禍前 から利用 し、現在も 利用	コロナ禍の 下で利用し 始め、現在 も利用	コロナ禍の 下で利用し 始めたが、 現在は利用 していない	利用して いない	無回答
全体	883	1.8	15.9	6.5	75.7	0.2
15～19歳	73	1.4	16.4	23.3	58.9	-
20～29歳	141	2.1	29.8	10.6	57.4	-
30～39歳	154	1.3	13.6	4.5	80.5	-
40～49歳	193	3.1	9.3	4.7	81.9	1.0
50～59歳	158	2.5	20.9	4.4	72.2	-
60～69歳	121	-	10.7	1.7	87.6	-
70～79歳	43	-	2.3	-	97.7	-

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

(注) 回答者は主婦、無職、職業無回答を除いている。

**職業別**にテレワーク、オンライン授業の利用状況をみると、管理職でコロナ禍の下で利用し始め、現在も利用している人が5割近くを占めた。他方、農林漁業、自営・商工業、労務・技能職、パート・アルバイトでは利用していないが8割を超えた。

学生では、現在利用しているが約4割と多かったが、コロナ禍の下で利用し始めたが、現在は利用していないも2割を占めた。

**図表7 テレワーク、オンライン授業の利用状況（職業別回答割合）**  
(1つだけ回答)

(%)

	回答者数 (人)	コロナ禍前 から利用 し、現在も 利用	コロナ禍の 下で利用し 始め、現在 も利用	コロナ禍の 下で利用し 始めたが、 現在は利用 していない	利用して いない	無回答
全体	883	1.8	15.9	6.5	75.7	0.2
農林漁業	16	—	—	—	100.0	—
自営・ 商工業	119	1.7	10.1	4.2	84.0	—
自由業	49	6.1	12.2	2.0	79.6	—
管理職	41	2.4	48.8	4.9	43.9	—
事務・ 技術職	211	2.4	20.4	8.5	68.2	0.5
労務・ 技能職	134	0.7	9.0	3.7	86.6	—
パート・ アルバイト	204	1.0	2.5	1.5	94.6	0.5
学 生	109	1.8	38.5	21.1	38.5	—

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

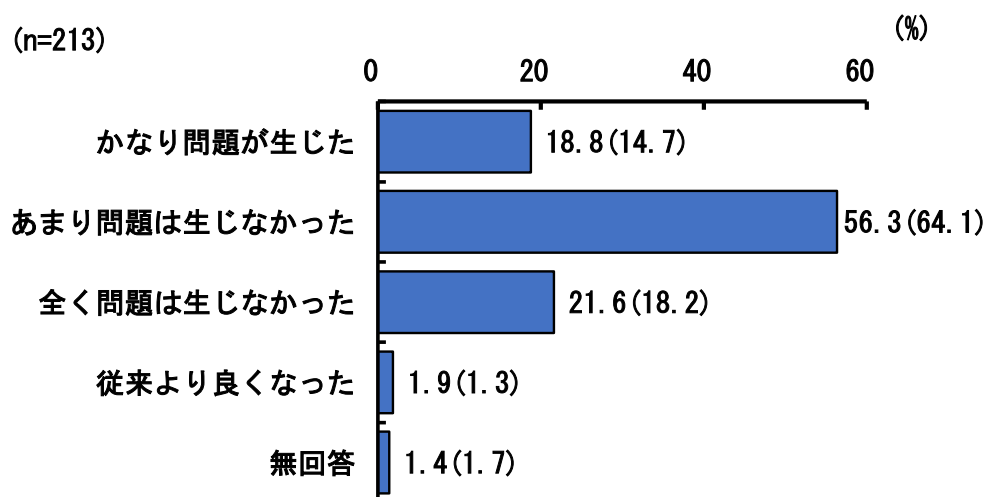
(注) 回答者は主婦、無職、職業無回答を除いている。

### 3. テレワーク、オンライン授業の利用による意思疎通やコミュニケーションへの影響

・・・問題が生じた人は18.8%

コロナ禍でテレワーク、オンライン授業を利用したことのある人に、そのことによって、意思疎通やコミュニケーションに問題が生じたかを聞いたところ、かなり問題が生じたとの回答は18.8%(14.7%)であった。他方、全く問題は生じなかったが21.6%(18.2%)、あまり問題は生じなかったが56.3%(64.1%)と高かった。

図表8 意思疎通・コミュニケーションへの問題（回答割合）  
（1つだけ回答）



(注) カッコ内は前回調査の結果 (n=231)

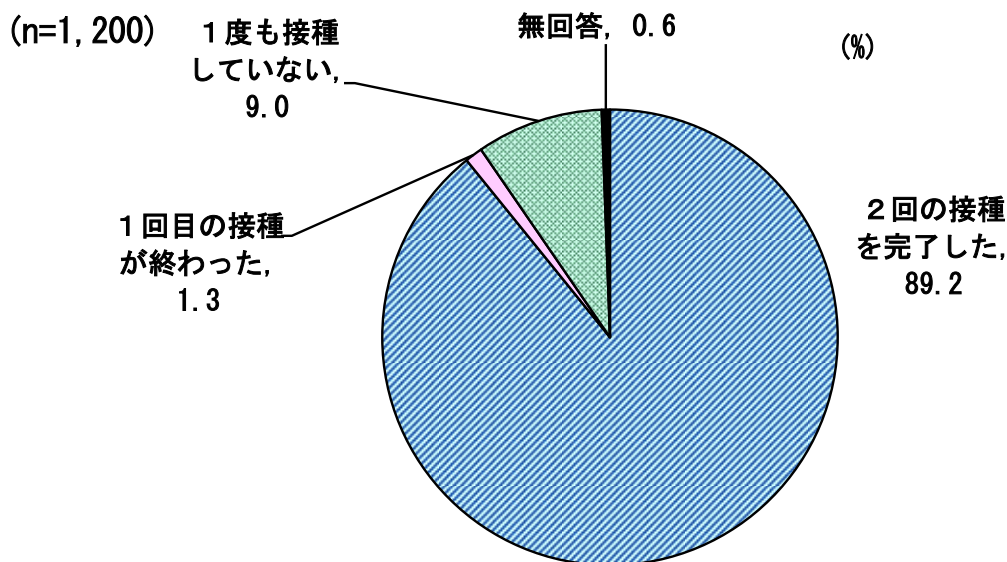


#### 4. コロナ・ワクチンの接種状況

……2回の接種を完了した人はほぼ9割

コロナ・ワクチンの接種状況は、2回の接種を完了したが89.2%に達した。他方、1度も接種していないは9.0%となった。

図表9 コロナ・ワクチンの接種状況（回答割合）  
（1つだけ回答）



年齢別にワクチンの接種状況を見ると、30歳代までの若年層で、1度も接種していないが1割台と高かった。

図表10 コロナ・ワクチンの接種状況（年齢別回答割合）  
（1つだけ回答）

	（%）			
	2回の接種を完了した	1回目の接種が終わった	1度も接種していない	無回答
全体	89.2	1.3	9.0	0.6
15～19歳	78.4	5.4	16.2	—
20～29歳	82.4	3.4	14.2	—
30～39歳	84.0	0.5	14.4	1.1
40～49歳	91.4	0.5	8.1	—
50～59歳	88.7	1.1	8.1	2.2
60～69歳	95.0	0.5	4.6	—
70～79歳	95.8	0.6	3.0	0.6

（注）全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

コロナ・ワクチンの接種状況別に、上記1. の外出等の抑制・自粛の状況をみたところ、1度も接種していないにもかかわらず、ほとんど抑制・自粛していない人が25.9%を占め、2回の接種を完了した人の15.2%に比べて高いという結果となった。これは、若年層で1度も接種をせず、外出等を抑制・自粛していない人がかなりいることを示している。

**図表 11 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況**  
(コロナ・ワクチンの接種状況別回答割合)(1つだけ回答)

(%)

	回答者数 (人)	ほとんど 抑制・自粛 していない	抑制・自粛 を減らした (緩めた)	かなり抑 制・自粛を 継続して いる	完全に抑 制・自粛を 継続して いる	無回答
全体	1,200	16.3	41.3	37.3	4.9	0.1
2回の接種を 完了した	1,070	15.2	41.6	38.1	5.0	0.1
1回目の接種 が終わった	15	20.0	26.7	53.3	—	—
1度も接種し ていない	108	25.9	39.8	28.7	5.6	-
無回答	7	28.6	57.1	14.3	—	—

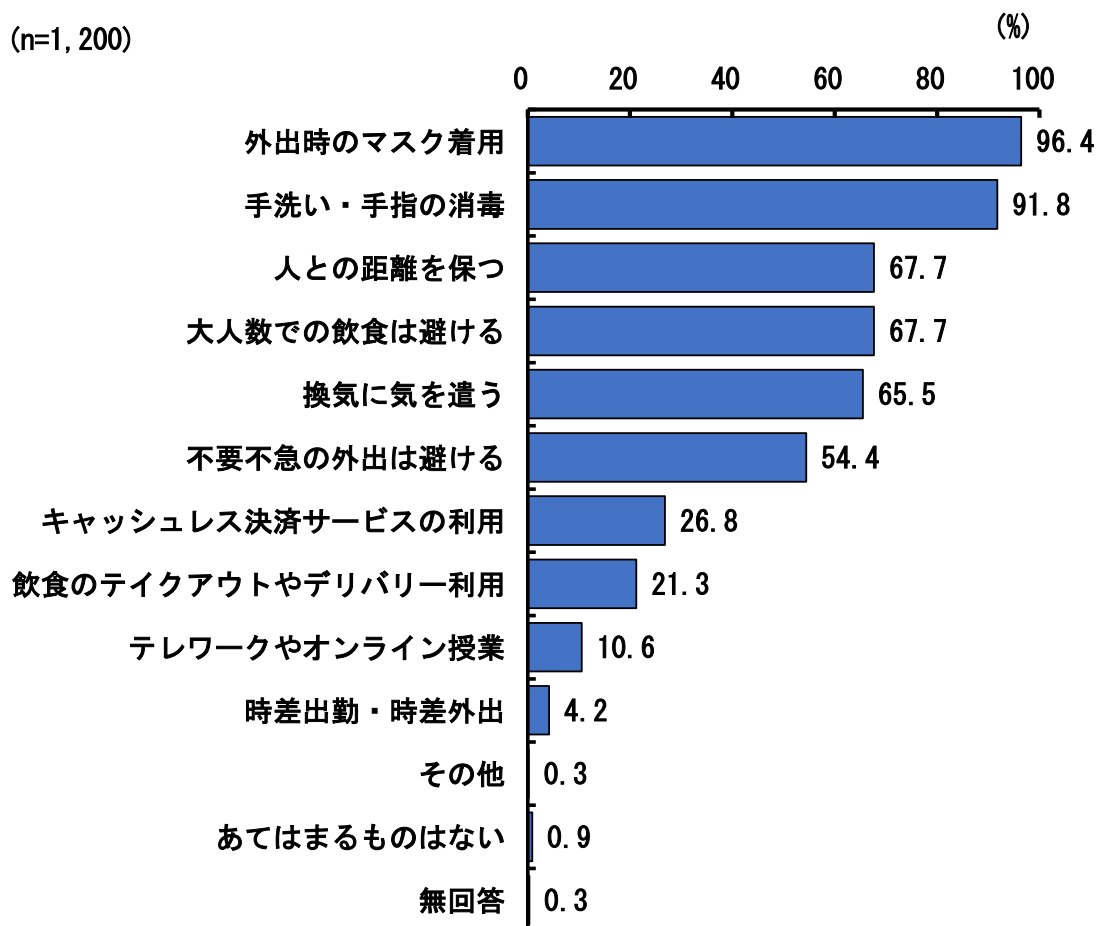
(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

## 5. コロナ・ワクチン接種後の日常生活での感染対策

……外出時のマスク着用と手洗い・手指の消毒が9割台

コロナ・ワクチン接種後の日常生活での感染対策で継続している、または継続しようと思うことは、外出時のマスク着用 96.4%、手洗い・手指の消毒 91.8%が9割台と高かった。人との距離を保つ、大人数での飲食は避ける、換気に気を遣うも6割台となった。

図表 12 コロナ・ワクチン接種後の日常生活での感染症対策（回答割合）  
（いくつでも回答、降順）



男女別にみると、人との距離を保つ、換気に気を遣う、キャッシュレス決済サービスの利用の3項目は、女性が男性よりも10ポイント程度高かった。

年齢別にみると、外出時のマスク着用、手洗い・手指の消毒の基本的な対策では大きな差はなかったが、人との距離を保つ、大人数での飲食は避ける、換気に気を遣う、不要不急の外出は避けるの4項目は60歳代以上で他の世代よりも高かった。30歳代は、キャッシュレス決済サービスの利用と飲食のテイクアウトやデリバリー利用が3割台と高く、20歳代は、テレワークやオンライン授業の利用が2割と高かった。

図表 13 コロナ・ワクチン接種後の日常生活での感染対策（性別・年齢別回答割合）  
（1つだけ回答、降順）

(%)

	外出時のマスク着用	手洗い・手指の消毒	人との距離を保つ	大人数での飲食は避ける	換気に気を遣う	不要不急の外出は避ける	キャッシュレス決済サービスの利用	飲食のテイクアウトやデリバリー利用	テレワークやオンライン授業	時差出勤・時差外出	その他	あてはまるものはない	無回答
全体	96.4	91.8	67.7	67.7	65.5	54.4	26.8	21.3	10.6	4.2	0.3	0.9	0.3
男性	95.6	87.7	61.3	63.3	59.8	50.8	21.5	17.9	15.0	6.3	-	1.2	0.7
女性	97.2	95.7	73.8	71.9	71.1	57.9	32.1	24.5	6.3	2.1	0.5	0.7	-
15～19歳	90.5	85.1	47.3	50.0	51.4	28.4	14.9	14.9	13.5	1.4	-	2.7	1.4
20～29歳	94.6	88.5	60.1	59.5	56.8	49.3	22.3	21.6	20.9	5.4	-	2.0	-
30～39歳	97.3	92.5	69.5	66.8	62.0	47.6	39.0	32.6	11.8	4.3	0.5	-	0.5
40～49歳	97.7	91.4	65.6	67.0	67.0	46.6	30.3	25.3	10.0	5.9	0.5	-	-
50～59歳	94.6	90.9	68.8	69.4	68.8	53.8	37.1	23.7	14.5	5.4	-	1.6	0.5
60～69歳	97.3	92.7	70.8	73.5	68.0	63.5	21.5	12.3	6.4	2.7	0.5	1.4	-
70～79歳	98.8	97.0	78.8	75.2	74.5	77.6	13.3	14.5	0.6	2.4	-	-	0.6

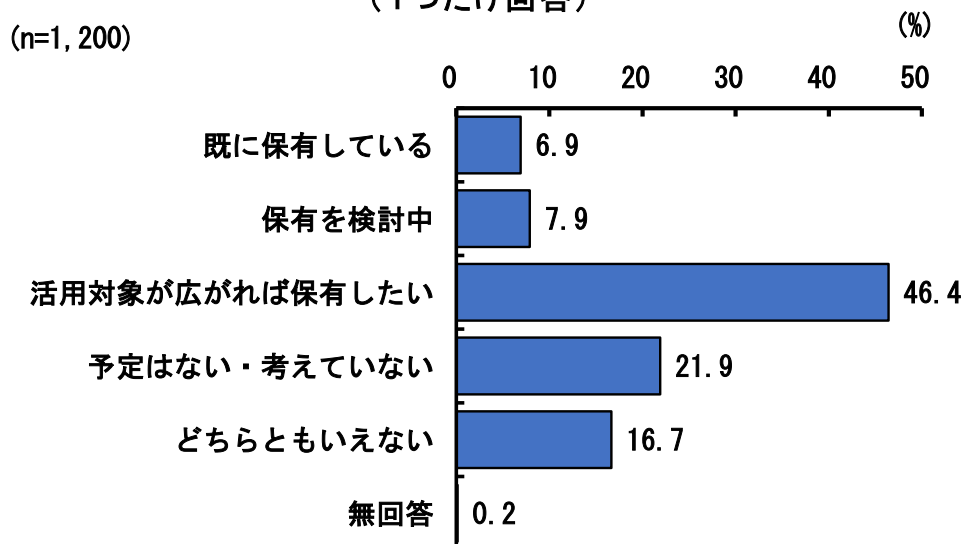
(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

## 6. ワクチン・パスポート(ワクチン接種証明)の保有意向

……既に保有している、保有を検討中の合計は1割台

ワクチン・パスポート(ワクチン接種証明)の保有意向を尋ねたところ、既に保有しているは6.9%にとどまり、保有を検討中7.9%を合計しても14.8%であった。最も多かったのは、活用対象が広がれば保有したいの46.4%で、予定はない・考えていないは2割台となった。

図表 14 ワクチン・パスポート(ワクチン接種証明)の保有意向(回答割合)  
(1つだけ回答)

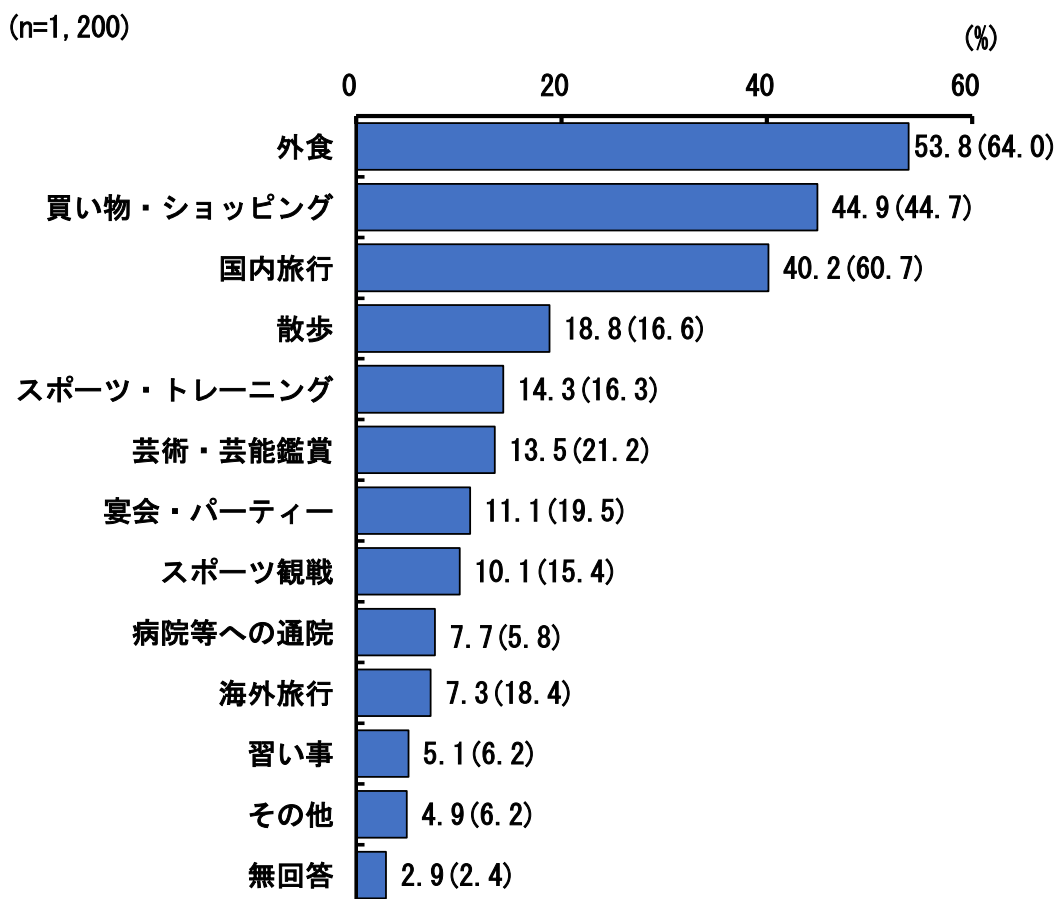


## 7. 緊急事態宣言解除後に増やした、または、今後増やそうと思う活動

・・・ 外食、国内旅行、買い物・ショッピングなど感染リスクを伴う消費活動が上位

緊急事態宣言が解除されて、増やした、または、今後増やそうと思う活動について質問を行った。結果をみると、外食が53.8%で最も高く、買い物・ショッピング44.9%、国内旅行40.2%の順で、他の活動と比べて高かった。

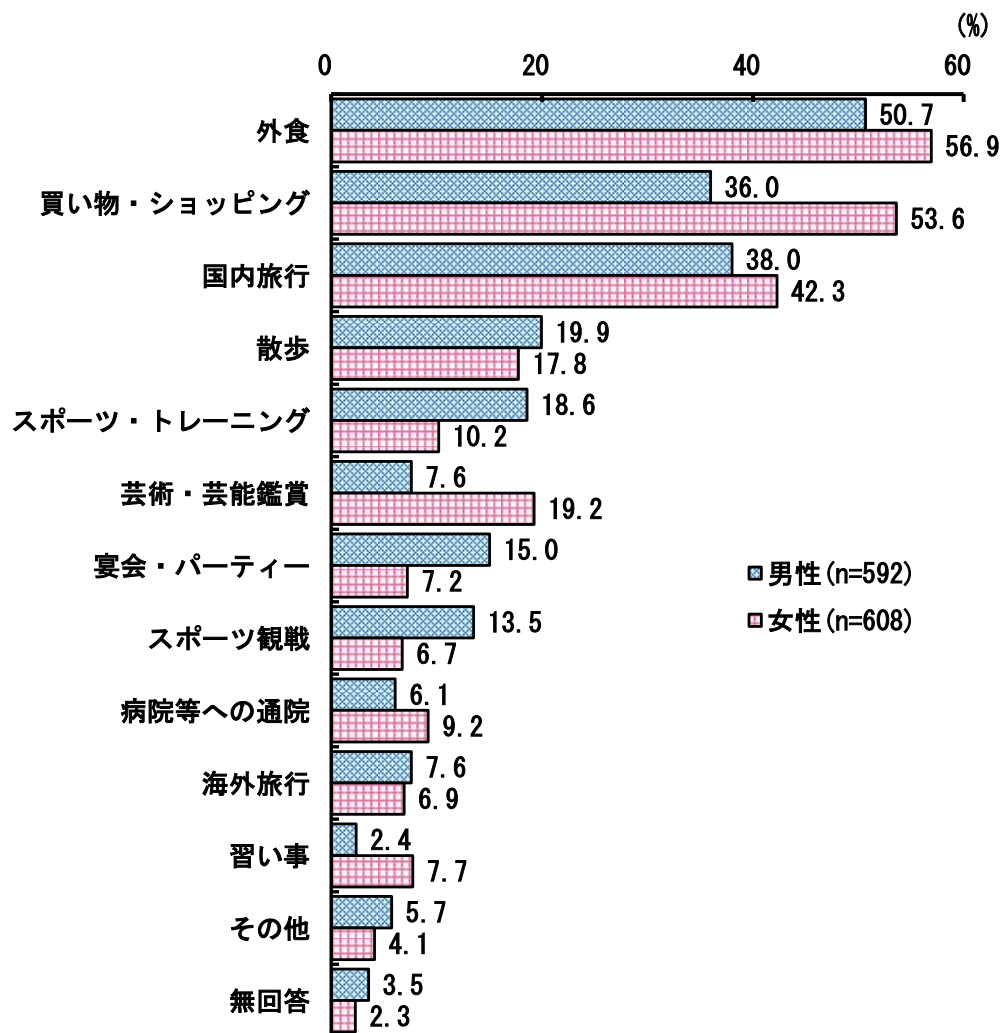
図表 15 緊急事態宣言解除後に増やした、または、今後増やそうと思う活動（回答割合）  
（いくつでも回答、降順）



(注) 前回（21年6月）調査では「コロナ危機が収まった後、増やそうと思う活動」として尋ねた

男女別で見ると、買い物・ショッピングと芸術・芸能鑑賞などで、女性が男性を大きく上回った。これに対して、スポーツ・トレーニング、宴会・パーティー、スポーツ観戦などは男性が女性を上回った。

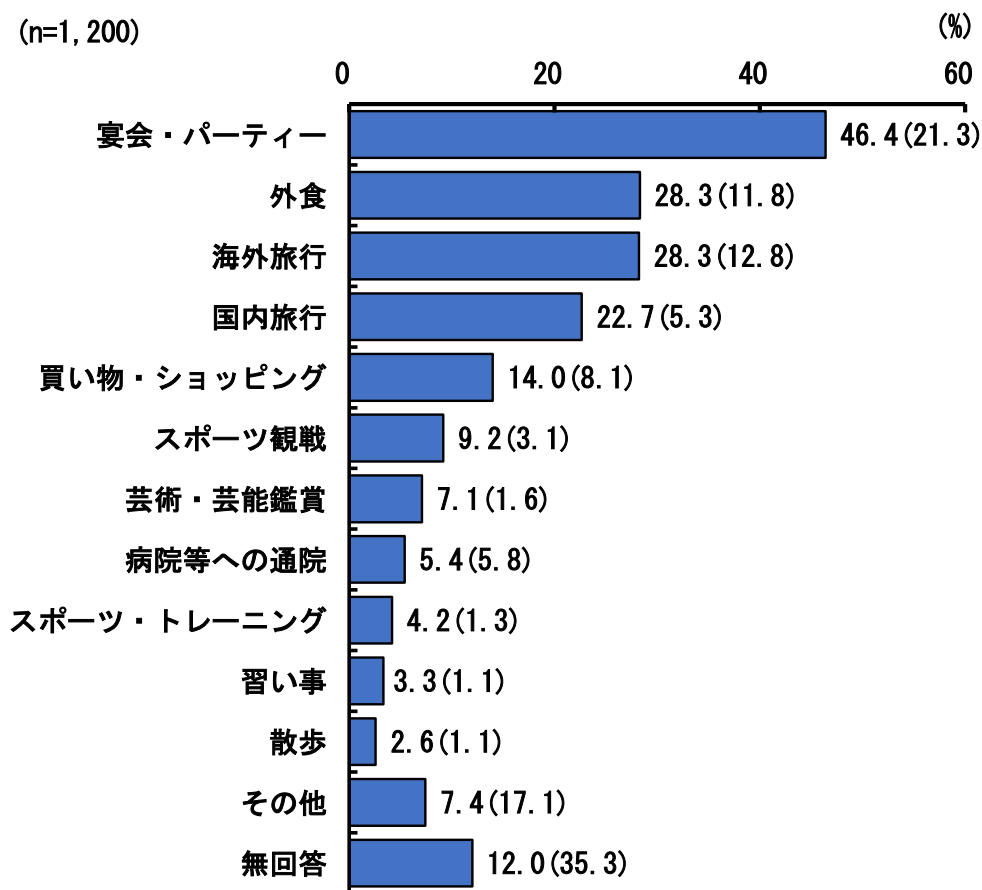
図表 16 緊急事態宣言解除後に増やした、または、今後増やそうと思う活動  
(性別回答割合) (いくつでも回答、降順)



## 8. 緊急事態宣言解除後にコロナ以前と比べて減らしている、または、今後減らそうと思う活動

上記7の問とは逆に、緊急事態宣言が解除されても、コロナ以前と比べて減らしている、または、今後減らそうと思う活動について尋ねたところ、宴会・パーティーが46.4%で最も高く、以下、外食、海外旅行、国内旅行、買い物・ショッピングの順となった。

図表 17 緊急事態宣言解除後にコロナ以前と比べて減らしている、または、今後減らそうと思う活動（回答割合）（いくつでも回答、降順）

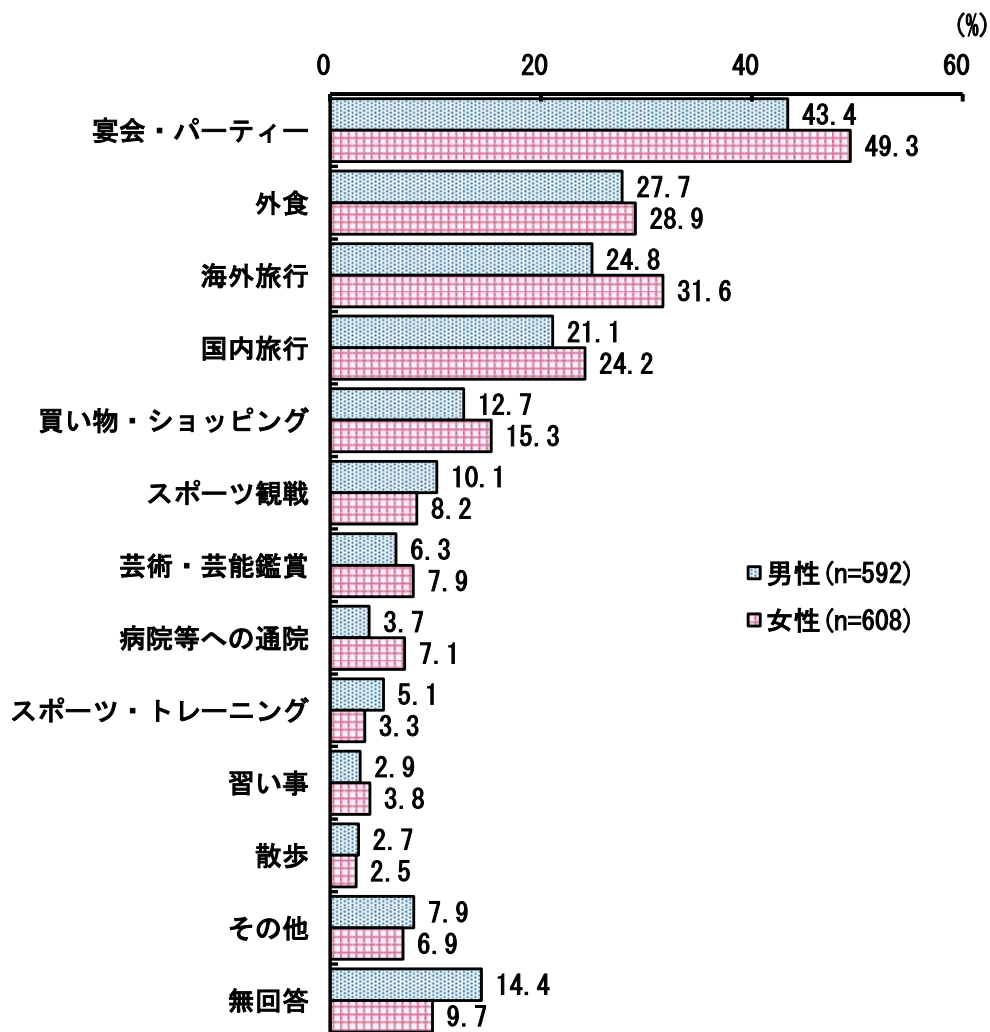


(注) 前回 (21年6月) 調査では「コロナ危機が収まった後も、従来と比べて減らそうと思う活動」として尋ねた



男女別にみると、宴会・パーティーや海外旅行などで、女性が男性をやや上回った。

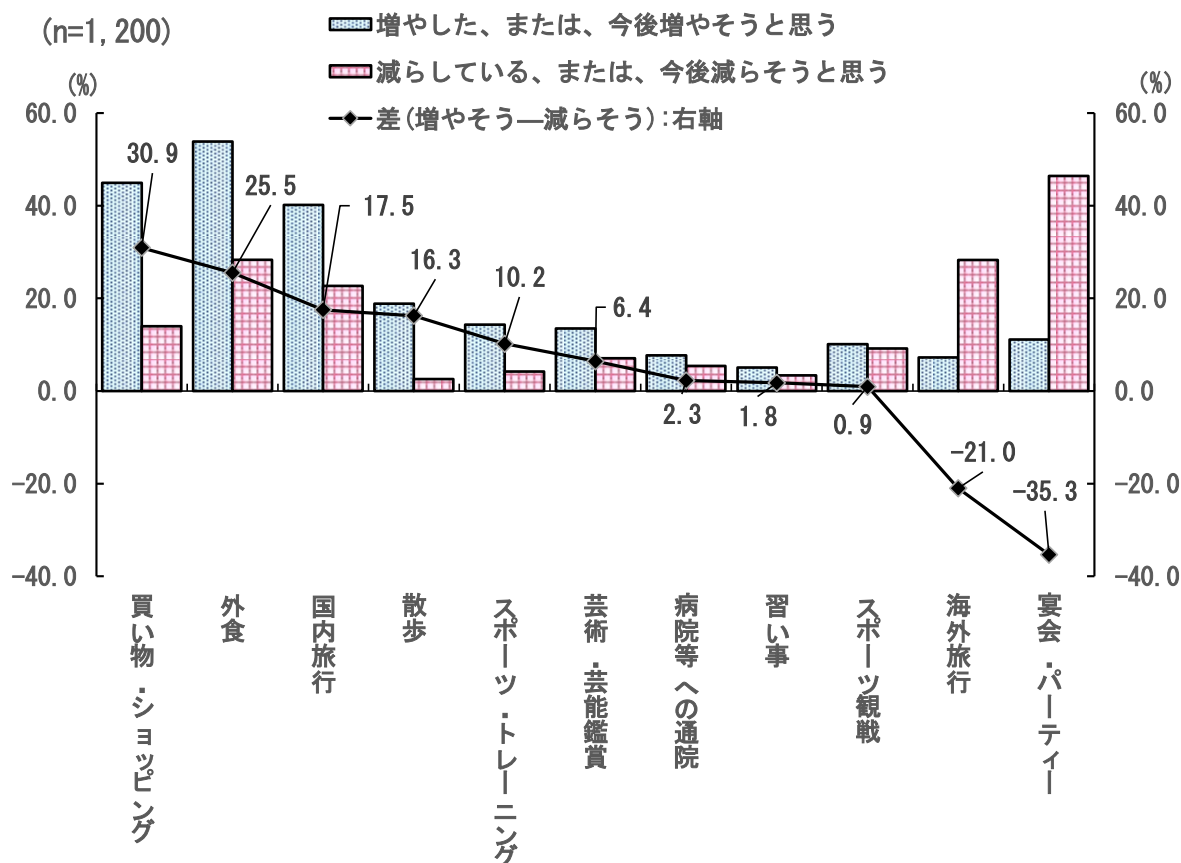
図表 18 緊急事態宣言解除後にコロナ以前と比べて減らしている、または、今後も減らそうと思う活動（年齢別回答割合）（いくつでも回答、降順）



図表 19 は、上記 7 の「緊急事態宣言解除後に増やした、または、今後増やそうと思う活動」の回答割合、上記 8 の「緊急事態宣言解除後に減らしている、または、今後減らそうと思う活動」の回答割合、及びその差を降順に並べたものである。

買い物・ショッピング、外食、国内旅行などは差が大きなプラスとなった。他方、海外旅行、宴会・パーティーは大きなマイナスとなった。

**図表 19 緊急事態宣言解除後に増やした（今後増やそうと思う）と減らしている（今後減らそうと思う）の比較と回答差（降順）**



## <調査方法>

- 対象地域：全国
- 対象者：15～79歳の男女個人1,200人（1地点6人×200地点）。
- サンプリング：住宅地図データベースから世帯を抽出し、母集団（住民基本台帳）の性別、年齢別、居住地別の分布に合わせて個人を割り当て
- 調査期間：〔開始〕2021年11月29日(月)～〔終了〕12月11日(土)：13日間
- 調査手法：訪問留置調査（調査員が対象者を個別訪問して回答を依頼、1,200人回収するまで継続）
- 調査属性：性・年齢、職業（本人・世帯主）、年収（世帯・個人）、未婚、学歴、家族形態、等
- 実査会社：株式会社日本リサーチセンター

## <回答者の分布（居住地域、性別、年齢別）>

### 《居住地域》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比（%））

全体	北海道・東北	関東	中部・北陸	近畿	中国・四国・九州
1,200	132	444	192	192	240
100.0	11.0	37.0	16.0	16.0	20.0

### 《性別》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比（%））

全体	男性	女性
1,200	592	608
100.0	49.3	50.7

### 《年齢別》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比（%））

全体	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳
1,200	74	148	187	221	186	219	165
100.0	6.2	12.3	15.6	18.4	15.5	18.3	13.8

## <引用について>

本調査の結果を引用される際は、出典として（一社）経済社会システム総合研究所と明記されたい。

一般社団法人 経済社会システム総合研究所

【所在地】 東京都千代田区麹町三丁目5番2号 ビュレックス麹町9階（〒102-0083）

【電話】 03-5216-7311（代表） 【URL】 <https://iess.or.jp>